

平成18年度伊丹市行政評価～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	999909		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。				
事務事業名	戸籍事務（戸籍総合システム事業を含む）		担当部局・課	市民部 市民課			
事業内容	戸籍事務（出生・死亡・結婚・縁組・離縁等の重要な親族的身分関係を登録・公証する）の充実		事業開始(予定)年度				
			—				
			事業終了(予定)年度				
		—					
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	—				
		項目	—				
		施策	O				
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。						
事業の目的	事務の効率化・正確性の確保・迅速化を図り、市民の利便性の向上を図ることを目的とする。目的を達成するために、戸籍総合システムのバージョンアップを計画する。		予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)	(款) 総務費 (項) 戸籍住民基本台帳費 (事項) 戸籍総合システム事務経費 (目) 戸籍住民基本台帳費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)		平成18年度(予算)				
	事業費	43,724千円	財源内訳				
			国・県補助金等	160千円			
			市債	—			
			その他(使用料等)	—			
			一般財源(市税等)	43,564千円			
	投入人員	4.85人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				
	人件費	41,545千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				
	経費合計	85,269千円		経費合計	84,841千円		
	活動指標	指標名(単位)	届出件数（件）		計画と実績	年度 区分	H17年度
意味・算式等		一年間の受付届出件数		計画値		9,043	9,320
				実績値		9,043	

評価結果	A
	上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。